

2020 年第 3 回 IEEE 東京支部理事会 議事録

日 時：2020 年 9 月 30 日(水) 15:00～17:30

場 所：Web 会議

出席者：徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer、
奥村 COC Chair、東盛 FNC Chair、中村 MDC Chair、種村 NC Chair、
桧垣 TPC Vice Chair、稲森 SAC Chair、田中 PC Chair、鈴木 HC Chair、
重松理事、高野 LMAG Chair、吉田 YP Chair、笹瀬 Past Chair、
杉江 Past Secretary、眞田 Past Treasurer、
百武オブザーバ、梶川オブザーバ、事務局、セクレタリアシスタント、書記

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】
2. Japan Council 理事会(2020 年第 2 回)報告
3. 2020 年中間会計報告
4. 委員会活動報告
 - ・ Chapter Operations Committee
 - ・ Fellow Nominations Committee
 - ・ Membership Development Committee
 - ・ Nominations Committee
 - ・ Technical Program Committee
 - ・ Publications Committee
 - ・ Student Activities Committee
 - ・ History Committee
5. Affinity Group 活動報告
 - ・ Life Members Affinity Group
 - ・ Young Professionals Affinity Group
6. その他
 - ・ JC WIE 報告
 - ・ SIGHT 報告
 - ・ IEEE R10 SIT (in TENCON2020) について
 - ・ Educational Activities について
 - ・ Fellow/Senior/Awards 増強等について【審議】
 - ・ 2021-2022 年 IEEE 東京支部理事・委員等の選定について
 - ・ [参考]メール審議報告
 - ・ [参考]Region10 からのメール連絡一覧

議事：

0. Chairのご挨拶

Chairより開会の挨拶を頂いた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】

Secretaryより、前回理事会議事録の確認があり、異議なく承認された。

2. Japan Council 理事会(2020年第2回)報告

Secretaryより、2021/2022年JC役員候補者がJC理事会において承認されたこと、5月に関西大学で予定していたStudent Branch Leadership Training WorkshopがCOVID-19の影響で6月にonlineで実施されたこと、SB会員数についてProbationの可能性の高いSBが4つ、ボーダーのSBが2つあり、JC SACから注意喚起を継続すること、LMAG-Tokyoの支部会員向けニュースレターの内容が充実しているため、R10向けにA4判1枚程度の英語版を作成して配付しアピールしたいこと、10月16日開催のIEEE MAW 2020 in HIROSHIMAはハイブリッド開催を検討していること、などが報告された。続いて、TENCON2020がonlineで開催されること、2020 IEEE Sections Congress Official Statementは中止となり次回開催は2023年の予定であること、などが報告された。

3. 2020年中間会計報告

Treasurerより、中間会計報告があった。7月末に修正予算が承認されており、修正予算に基づく8月までの執行状況である。収入についてRebateが入り金額が確定した。支出についてCOVID-19の影響で総会費用、SB、YPの支援費が縮小し、MDCでのメンバーシップバッジの製作や、WIEキックオフで使用予定の予備費を増額している。

4. 委員会活動報告

・ Chapter Operations Committee

COC Chairより、活動報告があった。前回理事会以降、FCS、TCSともに申請はなかった。JCからの情報として、チャプター支援費の上限額が今年度に限り増額されたことと、JC関連のメール配信ガイドライン改定について報告があった。

・ Fellow Nominations Committee

FNC Chairより、活動報告があった。フェロー、シニア会員の増強に向けて主要企業に協力頂くことが6月開催の第2回東京支部理事会にて了承されたため、コンタクトパーソンを通じて各企業に窓口担当を選出頂いた。10月にフェロー申請サイトがオープンするので、FNC Chairより各窓口担当に国内のIEEEのフェローの状況を説明し、フェ

ロー、シニア会員増強に向けた対応を依頼する。各社の対応進捗状況をまとめて12月の理事会で報告する。

- **Membership Development Committee**

MD Chair より、活動報告があった。2020年8月までのシニアメンバ昇格者数は目標に近づいている。在籍年数バッジの作成・授与について Japan Office と協力して、デザインと運用方法を決定した。会員更新のタイミングを考慮して2月後半から3月前半に該当会員に郵送予定である。会員特典の周知・リマインドや会員資格更新のリマインドをはじめ、今後の活動予定について説明があった。

Secretary より、IEEE Day に際した入会特典キャンペーンについて補足があった。FNC Chair より、バッジの贈呈対象者と、送付の際にシニアやフェロー昇格勸奨の案内について質問があり、MD Chair より、東京支部が対象であること、贈呈の際にシニアやフェロー昇格の案内をすると回答があった。

- **Nominations Committee**

NC Chair より、活動報告があった。8月21日に支部会員へ役員および理事の指名候補者公示を Tokyo Bulletin にて行った。結果、期限の9月23日までに追加指名が無く、本年最後の理事会にて正式に選出されることとなる。2021年1月1日より新役員・理事が就任し、2021年3月頃、総会で選出結果の追認を決議する。

- **Technical Program Committee**

TPC Vice Chair より、活動報告があった。これまでに講演会を4回実施した。今後、11月に第5回、12月に第6回講演会を予定しており、当初の見込みどおり6回の講演会を実施予定である。量子をテーマにした YP との合同講演会は検討中である。Online 開催により参加者数はかなり多くなっている。

- **Publications Committee**

PC Chair より、活動報告があった。IEEE Tokyo Bulletin 123号から125号までを発行、東京支部/Japan Council ホームページを更新、R10 Newsletter への募集案内と投稿を実施した。今後も同様の活動を継続する。

- **Student Activities Committee**

SAC Chair より、活動報告があった。7月に東京支部 SB web meeting を開催し、SB活動に関する説明やSB活動の紹介、座談会を行った。後期のSBの活動はonline開催を基本とする。10月にIEEE Student online gathering を、11月28日にIEEE TOWERS を実施予定である。

Secretary より、SB web meeting は機能的な取り組みであり、横のつながりを持つことで気づきがあると思うので続けて欲しいと依頼があった。また、レポートの書き方講座や LaTeX 講座など、学内での実施状況について質問があり、SAC Chair より、大学として集合形式のイベントをまだ許可できない状況であり難しいが、online でできるイベントは奨励していると回答があった。

- History Committee

HC Chair より、活動報告があった。遺留指紋自動識別システム、商用 DSP μ PD7720 の開発・実用化は合同で、2020 年 12 月 15 日に贈呈式、講演会は午後ハイブリッドで開催を予定している。

プッシュプル締結方式を採用したフィジカルコンタクト(PC)接続による光ファイバコネクタの贈呈式は、2021 年 3 月 5 日を予定している。COVID-19 の状況を見ながら計画する。また、IEEE マイルストーンの申請準備状況や他支部申請状況が報告された。

5. Affinity Group 活動報告

- Life Members Affinity Group

LMAG Chair より、活動報告があった。6 月から 9 月までに 4 回の講演会、3 回の役員会を開催した。LMAG-Tokyo ニュースレター第 28 号を発行した。今後、IEEE R10 SYWL Congress 2020 における Life Members Track に参加、10 月 8 日に LMAG-Tokyo 設立 10 周年記念行事開催を予定する。

- Young Professionals Affinity Group

YP Chair より、活動報告があった。第 12 回 IEEE キャリアアップ・スキルアップに関するエッセイコンテストに 11 件の投稿があった。世界を変える！アイデア実装コンテスト！に 8 件の投稿があり、11 月 28 日開催の IEEE TOWERS で表彰を行う。また、前記コンテスト応募者の中から 3 名を IEEE YESIST 12 に投稿推薦した。R10 SYWL Congress に 3 名が参加した。現在、R10 主催 IEEE Engineer Spotlight(共催)、STEP イベント(KDDI 総合研究所見学会)、広島での MAW2020 の翌日の 10 月 17 日に IEEE Japan SYWL Workshop(共催)をハイブリッドで開催を予定、LMAG-Tokyo 10 周年記念式典(共催)、Student Online Gathering 2020 (SAC と共催)などのイベント開催の準備を進めている。

6. その他

- JC WIE 報告

JC WIE Chair の代理で、SAC Chair より、活動報告があった。JC WIE 支部移行について、7 月 22 日に東京信越ジョイント WIE の設立が承認された。2020 年度は残期間

が短いため暫定 Chair を中心に活動を行い、2021-2022 年度の会長・三役の選出を行うこととなった。会長選挙を行い、暫定チェア稲森真美子氏が会長に選出された。広島/四国/福岡ジョイント WIE の設立を申請し、8 月 27 日に設立が承認された。これにより全国の支部に WIE を設立することができたので、JC WIE は解散に向け残務を行う。

Secretary より、東京/信越ジョイント WIE キックオフイベントの企画について質問があり、SAC Chair より、WIE で毎年開催している Annual Symposium に似た形態を考えていること、東京/信越支部の会員の方を中心に 50 人程度の規模でカジュアルな形で online 開催を考えていると回答があった。

- ・ SIGHT 報告

Secretary より、活動報告があった。第二回理事会以降、Tokyo SIGHT 主催の関連活動は特にない。小・中・高への出張授業である Career Navigator も、ここ数年依頼があり出張していた青森県むつ市第二田名部小学校より、今年は COVID-19 の状況を踏まえ県外からの講師の招待は禁止となったことが伝えられ、来年に延期となった。IEEE Engineer Spotlight -Japan 第 5 回にて、SIGHT member である吉田嵩氏、鈴木麻由美氏、西宮康治朗の 3 名が Career Navigator で登壇した。この際、第二田名部小学校等にも案内を配信し、青森県からの視聴参加もあった。

- ・ IEEE R10 SIT (in TENCON2020) について

Past Secretary より、Special Industry Track (SIT)の開催について報告があった。招待講演者として 4 名予定のうちの 2 名が決まった。Student and Early Researcher Conference Fund (SERCF) では、TENCON で発表する 35 歳以下の参加者の一部に上限 300 ドルのサポートをする。

- ・ Educational Activities について

Secretary より、説明があった。IEEE 本部および R10 は教育的活動に注力しており、Educational Activities (EA)の活動がスタートし、Engineer Spotlight などのイベントとして推進されている。JC においては継続的に EA を根付かせて発展させるため、EA Coordinator と各支部代表で推進体制を構築した。東京支部は、Engineer Spotlight の重要な推進役として貢献している YP Chair が代表に就任し、本活動を推進して行く。

- ・ Fellow/Senior/Awards 増強等について【審議→承認】

Secretary より、説明があった。各支部 Secretary と JC の関連委員会 Chair からなる検討チームが結成され、増強策が今後継続的に議論される。最初の案件として、シニア昇格者に記念メダルを贈呈することが提案されている。記念メダルの型製作費用は JC が負担し、贈呈用のメダルの製作費は各支部が負担することが想定されている。1枚当たり

のメダル製作費に、支部における毎年のシニア昇格者数を掛けた費用の負担が必要となる。メダルの評判が良いことと、予算的に可能であると判断されることから、東京支部においてもシニア・フェロー会員の増強につなげるため提案され、審議の結果、異議なく承認された。

- ・ 2021-2022 年 IEEE 東京支部理事・委員等の選定について

Secretary より、本件と関連する議題「・Nominations Committee」にて合わせて説明があった。

[その他]

- ・ LMAG Chair より、LMAG-Tokyo 設立10周年記念行事への参加奨励が再度あった。
- ・ Secretary より、2020年第4回東京支部理事会を、12月2日に機会振興会館にて実施予定であることが周知された。

以上